

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)			訪問国	アメリカ合衆国
学校名	静岡サレジオ高等学校	氏名	佐藤 桜香	学年	第2学年



生徒が形から授業を楽しむことができるよう、クリスマスの時期にはクリスマス仕様の洋服を着てくるクリスマス DAY やパジャマ DAY、ブルーホワイト DAY など様々な DAY が存在する。楽しく主体的に学ぶための一つのいい方法。

「サザン高校の授業方針」

1. ディスカッション法

⇒授業では生徒同士がそれぞれの考え方などを共有することで様々な視点から物事を考える力を養う。

2. 自己主張・否定禁止法

⇒何事でもまずは言ってみる、他人の意見を否定せず受け入れることで自己主張に自信がつく。

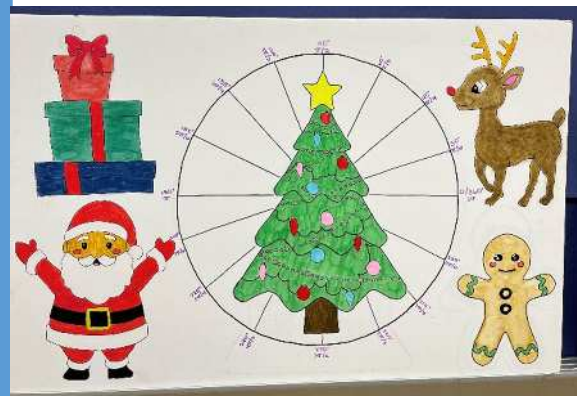
3. 授業プログラム法

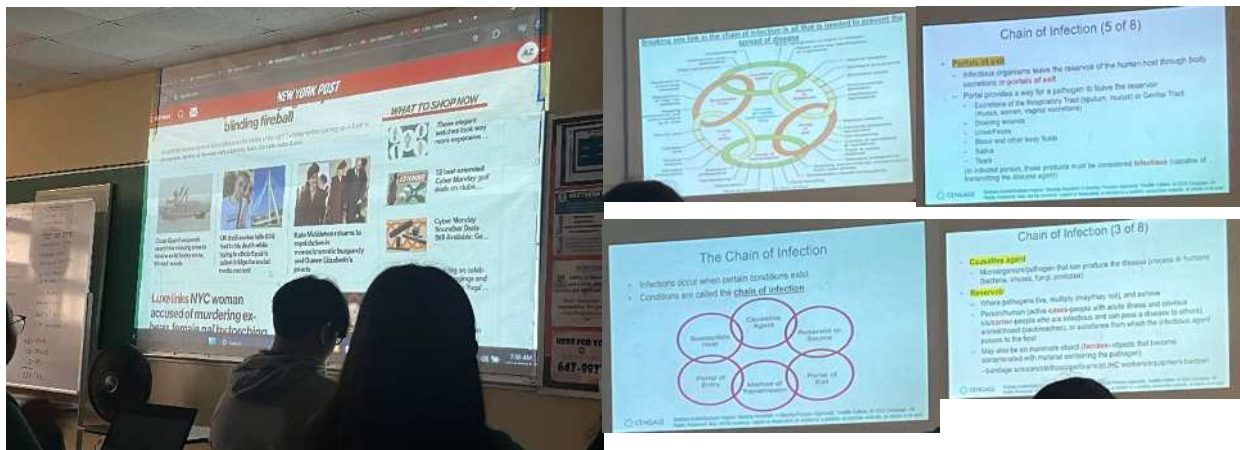
⇒授業を大学のように自分で取捨選択することで、将来の自分を見据えるとともに今自分が何をすべきかが明確であり、授業に対するモチベーションの増加。

4. テスト・表現二分法

⇒テストを年に2回行うほかに授業内容を応用・発展し、授業内容を用いて何かを創り出すことで、より楽しく・意欲的に授業に取り組むことができる

三角関数表を用いた制作物





ディスカッション法授業のほかに講義型の授業の2種類を受講することで、受動的かつ能動的に考え、より深い理解につながるほか、状況に応じた学び方を身につけられる、得意・不得意を補えるなどのメリットがある。

【全体を振り返って】

日本の教育と比較して、アメリカの教育は生徒の自主性を尊重している点が特徴的でした。授業中の発言やプレゼンテーションの機会が多く、生徒たちは自分の考えを自信を持って発信していました。この点は、日本の教育における「受け身」な学習スタイルとは対照的であり、新鮮な経験でした。ホームステイ先の家族はとても親切で、日常生活の中で英語を使う機会が多く、生きた英語を学ぶことができました。特に、毎日の食事や会話を通じて、文化の違いや生活習慣について深く理解することができました。週末には一緒に観光地を訪れるなど、グアムの美しい自然と歴史を楽しむことができました。タモンビーチや恋人岬などの観光地は特に印象深かったです。この留学を通じて、異文化理解の重要性を再確認しました。異なる文化や背景を持つ人々との交流は、自分自身の視野を広げ、柔軟な考え方を養うきっかけとなりました。英語力だけでなく、コミュニケーション能力や適応力も向上しました。帰国後も、この経験を活かし、さらに英語の学習や国際交流活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。今回の留学は私にとって大きな成長の機会となりました。この貴重な経験を胸に、今後も新たな挑戦を続けていきます。

